

日本各地の桜が危ない、全国 6,000 本の健康状態を調査  
**桜の健康状態は昨年に引き続き過去最悪、樹勢の衰退傾向が続く**  
 ～健康度ワースト上位の北海道と宮崎県、台風の影響も一因か～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、全国規模で桜の健康状態をチェックする調査『桜の健康診断 2017』を実施し、本日、結果を発表しました。今年の桜の健康度は、全国平均で「優良(-)」の判定となり、調査開始以来、最も悪い結果であった 2016 年と同じ値(1.70)です。引き続き桜の健康状態は悪化しており、樹勢が衰退傾向にあるといえます。桜の健康度をランキングにすると、最下位は宮崎県、次いで北海道で、ともに 2016 年夏の台風の影響が一因として考えられます。本調査は、3 月 14 日～5 月 21 日、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」を通じてユーザーに、身近な桜の花の咲き方や幹の状態など 6 項目(日当たり、樹形、花の咲き方、幹の状態、樹皮の状態、花数)の質問に回答していただき、全国 6,000 本の桜の健康状態をまとめたものです。日本で 1 番多い桜、ソメイヨシノの寿命は 60 年と言われ、元気な姿を保つには、弱っている桜を早めに見つけ、手当をすることが大切です。ウェザーニューズは今後も定期的に『桜の健康診断』を実施し、美しい花を咲かせ日本の春の風景を彩る桜の健康を、全国の皆さんと大切に見守っていきます。

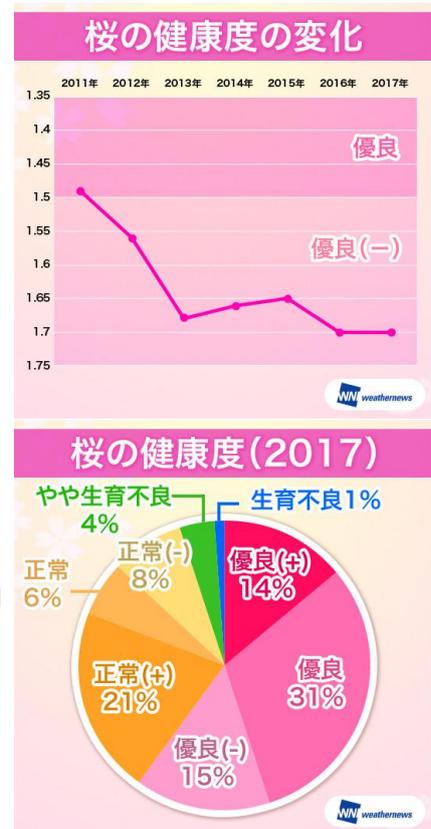
本プレスリリースの素材のダウンロード		『桜の健康診断 2017』結果詳細はこちら
ウェブ版プレスリリース 『桜の健康診断 2017』 <a href="https://jp.weathernews.com/news/16561/">https://jp.weathernews.com/news/16561/</a>	スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」をダウンロード後、「さくら Ch.」にアクセス	ウェザーニューズウェブサイト 『桜の健康診断 2017』 <a href="https://weathernews.jp/s/topics/201706/050125/">https://weathernews.jp/s/topics/201706/050125/</a>

◆桜の健康状態は昨年に引き続き過去最悪、樹勢の衰退傾向が続く

『桜の健康診断 2017』は、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」を通じて全国のユーザーに、身近な桜の「日当たり」「樹形」「花の咲き方」「幹の状態」「樹皮の状態」「花数」の 6 項目を質問しました。各項目の回答を集計して健康度を指数化し、「優良(+)」から「生育不良(-)」の 12 段階(※注 1)で判定しました。

全国 6,156 人から寄せられた回答の結果、今年の桜の健康度は、全国平均で「優良(-)」の判定となり、調査開始以来、最も悪い結果であった 2016 年と同じ値(1.70)です。引き続き桜の健康状態は悪化しており、樹勢が衰退傾向にあるといえます。健康度が低下しても、1～2 年単位ではほとんど変化に気づきませんが、衰退が 5 年も続くと太枝が 2、3 本は枯れるなどの影響があります。

桜の健康度の割合を全国でみると、「優良(+）」、「優良」、「優良(-)」3 つの合計が全体の 6 割を占めています。ただ、そのうちの「優良(-)」は、今回の全国平均(1.70)以下である「正常(+)」の予備軍とも捉えられるので、今後もこの変化を見ていく必要があります。



※注 1. 桜の健康度は、ウェザーニューズ独自で次のような定義をしています。  
 優良(+): 1.00～1.25 / 優良: 1.26～1.50 / 優良(-): 1.51～1.75 / 正常(+): 1.76～2.00 / 正常: 2.01～2.25 / 正常(-): 2.26～2.50 / やや生育不良(+): 2.51～2.75 / やや生育不良: 2.76～3.00 / やや生育不良(-): 3.01～3.25 / 生育不良(+): 3.26～3.50 / 生育不良: 3.50～3.75 / 生育不良(-): 3.76～

◆健康度ワースト上位の北海道と宮崎県、台風の影響も一因か

桜の健康度を都道府県別にみていると、「優良(-)」が大半を占めているものの、昨年より「正常(+)」のエリアが増加し、健康状態は悪化の傾向となりました。特に、北海道、青森県、熊本県、宮崎県は2年連続で「正常(+)」となりました。

桜の花芽が形成される2016年夏の気象条件を振り返ると、例えば北海道には、8月に3つの台風が立て続けに上陸しました。釧路市では最大瞬間風速43.2m/sを観測するなど、記録的な雨風となり、札幌市の8月雨量は平年の2倍以上でした。そのため、桜の根や枝、芽が傷んだ可能性が考えられます。また、宮崎県は、8月のお盆頃を中心に晴れて暑い日が続き、雨量が平年の19%とかなり少なくなりました。高温障害や乾燥による栄養不足、虫や病気に影響されやすくなった可能性が考えられます。9月は、台風の影響で宮崎市では1時間に100mmを超える激しい雨や、瞬間で30m/sを超える暴風に見舞われました。そのため、桜の根や枝、芽が傷んだ可能性が考えられます。



◆『桜の健康診断2017』項目別の結果

＜樹形の状態：“自然樹形を保っている”が7年で初めて5割を切る＞

「樹形(樹の立ち姿)は？」と質問し、「自然樹形を保っている」、「自然樹形に近い」、「樹形が崩れてきている」、「自然樹形がほとんど崩れている」の4項目から回答いただきました。その結果、「自然樹形を保っている」が過去7年で初めて5割を切りました。このようにじわじわと数値が悪化しているのは、夏の暑さで樹勢が衰え、その結果、樹形が悪化していることが考えられます。



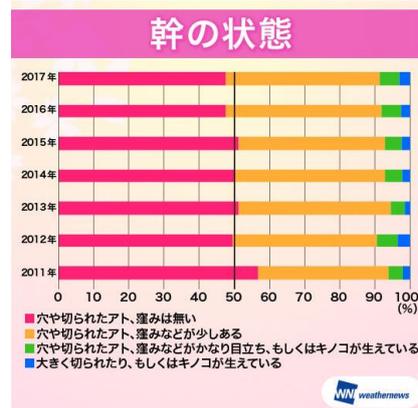
＜花の咲き方：“所々咲いていない枝がある”と“特に上部に咲いていない”の合計が3割超え＞

「花の咲き方は？」と質問し、「木全体にまんべんなく花が咲いている」、「所々咲いていない枝がある」、「特に上部に咲いていない」の3項目から回答いただきました。その結果、「所々咲いていない枝がある」と「特に上部に咲いていない」の合計が、昨年に続き3割を超えました。花の咲き方が悪い場合、根の状態が悪い可能性があります。これは根元の踏み固めや肥料不足などが考えられます。



### <幹の状態:穴や切られたアト、窪み、キノコなど、不健康な状態の回答が5割超え>

「幹の状態は?」と質問し、「穴や切られたアト、窪みは無い」、「穴や切られたアト、窪みなどが少しある」、「穴や切られたアト、窪みなどがかなり目立ち、もしくはキノコが生えている」、「大きく切られたり、もしくはキノコが生えている」の4項目から回答いただきました。その結果、穴や切られたアト、窪み、キノコなど、不健康な状態の回答が、昨年に続き5割を超えました。健康そうに見える幹でも、キノコが生えているものは中が腐っている可能性があり、専門家による診断が必要になります。



### <樹皮の状態:苔や樹皮のはがれ・損傷など、状態の良くない回答が2割超え>

「樹皮の状態は?」と質問し、「生き生きして光沢がある/盛り上がるような部分があり、縦に割れている」、「傷などほとんどない」、「苔などが残っていたり、樹皮がはがれてカサカサしている」、「苔に覆われた部分が多い。または、樹皮の損傷が激しい」の4項目から回答いただきました。その結果、「苔などが残っていたり、樹皮がはがれてカサカサしている」と「苔に覆われた部分が多い。または、樹皮の損傷が激しい」の合計が、昨年に続き2割を超えました。苔はあまり害にならないと思われませんが、樹皮がはがれてカサカサしていたり、損傷が激しい場合、土の中の通気性が悪く、桜の生長が止まっている可能性があります。



### ◆『桜の健康診断』とは

ウェザーニューズでは、毎春美しい姿で楽しませてくれる桜の健康を見守り、また桜を大切にしたい気持ちを広く育むことを目的として、毎年全国規模で『桜の健康診断』を実施しています。ソメイヨシノの寿命は60年と言われ、ソメイヨシノは戦後間もない時期に多く植えられたので、当時植えられたものはすでに寿命を過ぎていることとなります。老化により弱った桜・病気の桜が増えるのは自然のことで、今回の『桜の健康診断 2017』の結果もその傾向を反映していると考えられます。ただ、土の改善や病気の治療など、人が手当てを行うことによってその寿命を延ばすことができます。桜の名所の中には、現地の方々の大きな努力により、寿命を過ぎた桜たちが元気に花を咲かせているところもあります。ウェザーニューズでは、来年以降も継続的に健康診断を実施し、桜の健康状態の変化を追うことによって、桜を大切にしたい気持ちが全国に広がるよう努めてまいります。

#### \* 日本花の会 樹木医 和田博幸氏からのコメント

『桜の生育環境は悪化する傾向にあると思っています。夏の高温と乾燥、そしてヒートアイランド現象。さらに暖冬の傾向が桜を弱らせる要因です。その傾向が西日本の方がよりはっきり出てもいいと思いましたが、今回の調査結果では顕著に現れていないので、単純ではないということかもしれません。やはり長期的に桜を観察していくことが非常に重要です。今後も継続的に、サポーターの皆さんと調査を実施し、みんなで日本の桜を見守っていきましょう。』

◆参考:『桜の健康診断 2017』都道府県別健康度ランキング

2017				2016			
順位	都道府県	健康度	判定	順位	都道府県	健康度	判定
1位	大分県	1.56	優良(-)	1位	徳島県	1.51	優良(-)
2位	山形県	1.57	優良(-)	2位	島根県	1.56	優良(-)
3位	徳島県	1.58	優良(-)	3位	岡山県	1.58	優良(-)
4位	島根県	1.58	優良(-)	4位	佐賀県	1.60	優良(-)
5位	福井県	1.59	優良(-)	5位	宮城県	1.62	優良(-)
6位	群馬県	1.60	優良(-)	6位	和歌山県	1.62	優良(-)
7位	愛媛県	1.61	優良(-)	7位	栃木県	1.62	優良(-)
8位	高知県	1.63	優良(-)	8位	群馬県	1.63	優良(-)
9位	長野県	1.64	優良(-)	9位	茨城県	1.63	優良(-)
10位	奈良県	1.65	優良(-)	10位	大阪府	1.64	優良(-)
11位	鹿児島県	1.65	優良(-)	11位	埼玉県	1.65	優良(-)
12位	石川県	1.65	優良(-)	12位	愛媛県	1.65	優良(-)
13位	和歌山県	1.65	優良(-)	13位	鳥取県	1.65	優良(-)
14位	兵庫県	1.66	優良(-)	14位	山形県	1.65	優良(-)
15位	埼玉県	1.67	優良(-)	15位	愛知県	1.66	優良(-)
16位	宮城県	1.67	優良(-)	16位	香川県	1.66	優良(-)
17位	栃木県	1.67	優良(-)	17位	福島県	1.66	優良(-)
18位	鳥取県	1.70	優良(-)	18位	滋賀県	1.66	優良(-)
19位	茨城県	1.70	優良(-)	19位	兵庫県	1.67	優良(-)
20位	広島県	1.71	優良(-)	20位	神奈川県	1.68	優良(-)
21位	福島県	1.71	優良(-)	21位	長野県	1.69	優良(-)
22位	静岡県	1.71	優良(-)	22位	山梨県	1.69	優良(-)
22位	愛知県	1.71	優良(-)	23位	福井県	1.69	優良(-)
24位	福岡県	1.71	優良(-)	24位	秋田県	1.69	優良(-)
25位	富山県	1.72	優良(-)	25位	山口県	1.70	優良(-)
26位	岐阜県	1.72	優良(-)	26位	新潟県	1.70	優良(-)
27位	千葉県	1.72	優良(-)	27位	奈良県	1.71	優良(-)
28位	岩手県	1.73	優良(-)	28位	東京都	1.72	優良(-)
29位	東京都	1.73	優良(-)	29位	千葉県	1.72	優良(-)
30位	三重県	1.73	優良(-)	30位	鹿児島県	1.72	優良(-)
31位	山口県	1.73	優良(-)	31位	京都府	1.72	優良(-)
32位	神奈川県	1.73	優良(-)	32位	広島県	1.73	優良(-)
33位	佐賀県	1.74	優良(-)	33位	長崎県	1.74	優良(-)
34位	長崎県	1.74	優良(-)	34位	大分県	1.74	優良(-)
35位	京都府	1.74	優良(-)	35位	石川県	1.75	優良(-)
36位	山梨県	1.75	優良(-)	36位	三重県	1.75	優良(-)
37位	岡山県	1.75	優良(-)	37位	富山県	1.75	優良(-)
38位	大阪府	1.76	正常(+)	38位	静岡県	1.75	優良(-)
39位	香川県	1.77	正常(+)	39位	福岡県	1.76	正常(+)
40位	青森県	1.77	正常(+)	40位	北海道	1.76	正常(+)
41位	秋田県	1.78	正常(+)	41位	熊本県	1.77	正常(+)
42位	滋賀県	1.82	正常(+)	42位	岐阜県	1.78	正常(+)
43位	新潟県	1.82	正常(+)	43位	宮崎県	1.78	正常(+)
44位	熊本県	1.83	正常(+)	44位	青森県	1.79	正常(+)
45位	北海道	1.87	正常(+)	45位	高知県	1.80	正常(+)
46位	宮崎県	1.87	正常(+)	46位	岩手県	1.84	正常(+)
全国平均		1.70	優良(-)	全国平均		1.70	優良(-)

※注 2. 本ランキングは、沖縄県を除く 46 都道府県で算出しています。

※注 3. 桜の健康度の値は、小数第 3 位を四捨五入したものです。